



TITLE:

珍客シブスマン彗星

AUTHOR(S):

CITATION:

珍客シブスマン彗星. 星 1930, 5: 1-4

ISSUE DATE:

1930-06-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/169021>

RIGHT:

星 星 星 星 星 星 星 星 星 星 星 星

(第 5 號)

1930 年 (第 5 號) 6, 7 月

珍客 シグスマン 彗星

今年の五月、突然として來訪したシヴスマン彗星は、去る1927年初夏の空を賑はしたキンネケ彗星と、よく似た軌道を持ち、よく似た時期に、よく似た方向から現はれて來て、何から何まで誠によく似た現象を見せながら、もはや六月中旬には遠く南の天へ逃げて行きつゝある。

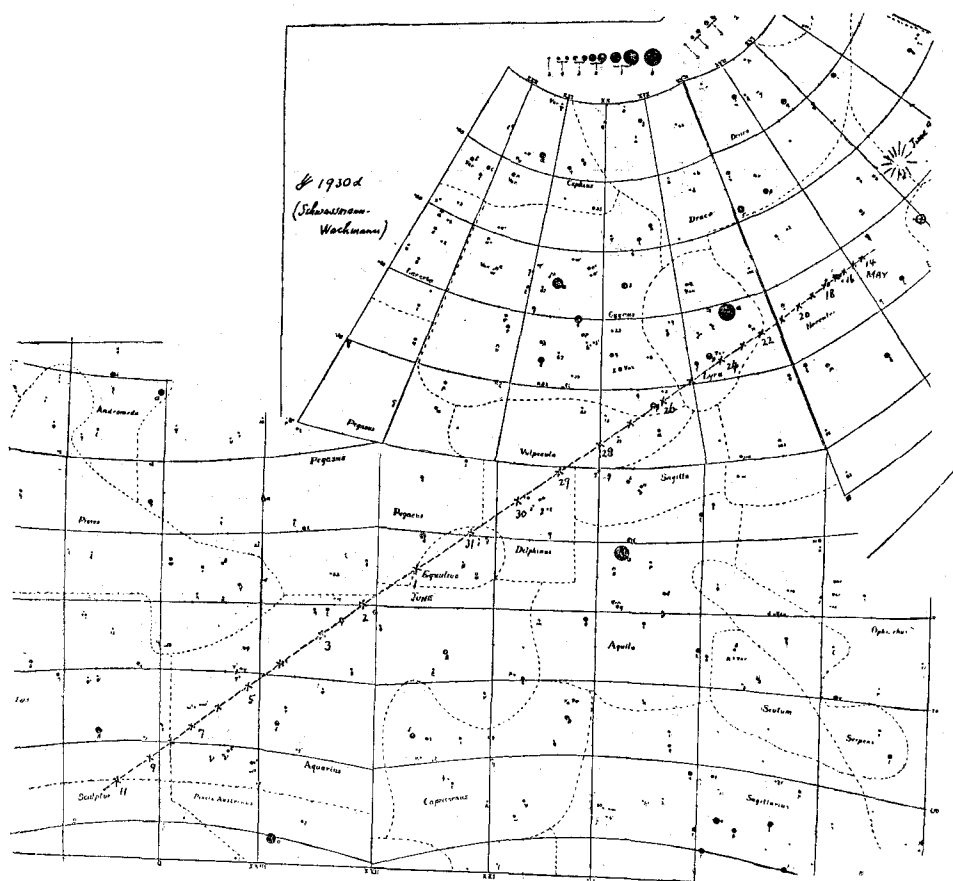
天空経路は、五月二日に「かんむり座」の中で発見され、まもなく「ヘルクレス座」に入り、月末には「こと」、「はくてう」、「きつね」、「いるか」、「こうま」を経て、六月には「みづかめ」に入り、六月十日過ぎには「彫刻具」に去つて了つた。光度は初め9等級であつたが、五月末、彗星が我が地球に近づくと共に漸次明るくなつて、二十八日からチラと肉眼にも見えるやうになつた。此の頃、彼我の宇宙距離は約三百萬里であつた。

花山天文臺では、多くの人々が此の星の觀測と研究とに精を出した。中村渡邊兩氏は初めから彗星の位置と寫眞觀測とをやり、其れを材料として、五月十日頃から渡邊柴田兩氏が軌道の計算をやつた、此の軌道計算によつて、彗星が月末に地球へ近づくことや、流星が現はれることが、早くも五月中旬頃には知れたのであつた。

流星は、五月中頃から宮澤君が注意深く観測したが、早くも五月二十一日の夕刻に、四五人の人々が一齊に「まきを座」エプ星附近から放射する

シワスマン・ワケマン彗星

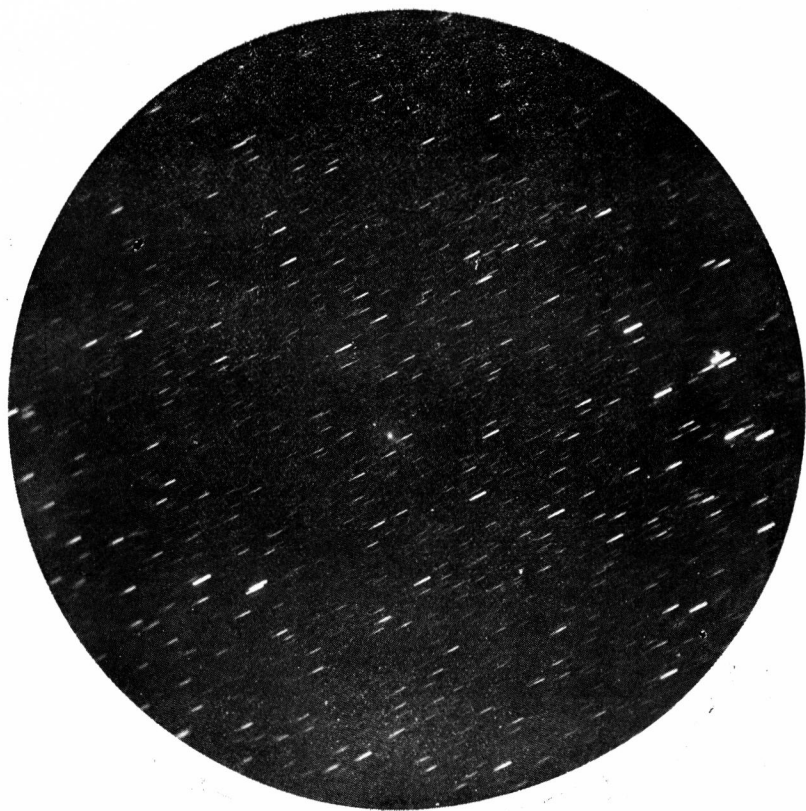
が通過した天空経路



此の圖は毎夜午後九時の位置で
ある。牧夫座にある放射形は流
星輻射點と其の移動を示す。

シグスマン彗星の寫眞

(神戸の改發氏撮影)



1930年5月31日午前1時57分

より60分間露出

カメラは口径5センチF4.5

中央にある星雲状のものが彗星である。他は皆恒星。
右端に「いるか座」の美しい星々が見えてゐる。

流星雨を見つけ、之れが豫期の流星雨であるのかと一時は思はれたけれど、其の後急に此の流星は衰へたことや、輻射點の移動が變であることなどから、此の流星雨はシヴスマン彗星に屬するものでないことが知れた。之れは全く新しい流星雨であつたのだ。

シヴスマン彗星からの流星雨は、豫定の如く六月五日頃から「ヘルクレス」の北邊に見え始め、九日と十日とには見事な現はれ方であつた。しかし、光が一體に淡かつたものだから、殆んど皆、中村氏の鋭眼に映じたのみであつて、他の人々は殆んど無收穫に終つたのは残念であつた。明るい月の光りと、雲や霞が此の頃の觀測者を悩ましたことは勿論である。しかし、とにかく、前記中村氏の觀測によつて、確實に流星雨を得たことは愉快である。

神戸の改發氏は、又、五月二十日頃から、此のシヴスマン彗星の寫眞を幾枚も撮られた。多くは誠に見事なものである。こゝに掲げるものは氏の得られたものゝ一枚である。

表 紙 の 寫 眞

此の見事な寫眞も亦、神戸の改發氏が撮られたものである。器械は同氏の5センチF4.5。日時は、五月二十四日夜半過ぎ。天空は「こと」座から「きつね」座のあたりである。主な星々の案内を試みると一

上から	30ミリ	右から	40ミリ	「こと座」ア星（織女）
〃	110	〃	75 〃	〃 ベ星
〃	120	〃	48 〃	〃 ガ星
〃	135	〃	82 〃	シヴスマン彗星
〃	117	〃	65 〃	「こと座」輪形星霧